

平成 20 年度内部評価委員会の評価結果

平成 20 年 7 月 30 日に内部評価委員会を開催し、委員 5 名が参加して、事前評価 1 課題、中間評価 2 課題及び事後評価 1 課題について評価がなされました。評価結果は下記のとおりです。

なお、評価方法は 5 段階評価で

- 5：非常に高く評価できる。
- 4：高く評価できる。
- 3：評価できる。
- 2：あまり評価できない。
- 1：評価できない。

としています。また、総合評価が 2 点以下の課題は、原則として廃止又は中止することとしています。

(1) 事前評価

- ・ 調査研究課題：**県内産ジャガイモのグリコアルカロイドについて**
(実施計画期間：平成 21 年度～ 23 年度)

評 価 事 項	委 員					総合評価 (平均値)
	A	B	C	D	E	
調査研究目的の妥当性・合理性	3	2	2	2	3	2.4
調査研究内容及び調査研究体制の妥当性・合理性	3	3	3	3	3	3.0
環境及び保健衛生行政施策に対する反映・寄与の程度	3	2	3	2	4	2.8
学術的意義又は技術開発に対する寄与・期待の程度	2	2	3	2	4	2.6
県民ニーズに対する対応状況	3	3	2	2	3	2.6
総 合 評 価	3	2	3	2	3	2.6
(主な意見)						
総合評価は 2 点を上回り採択されましたが、調査研究の進め方を十分検討する必要性や研究内容の要検討の意見がありました。						

(2) 中間評価

- ・ 調査研究課題：**高濃度光化学オキシダント発生要因と注意報発令の要件に関する調査研究**
(実施計画期間：平成 19 年度～ 21 年度)

評 価 事 項	委 員					総合評価 (平均値)
	A	B	C	D	E	
調査研究目的の進捗状況	3	3	4	3	3	3.4
調査研究内容及び調査研究体制の変更の必要性	3	4	4	3	4	3.4
調査研究継続の妥当性	3	4	4	4	5	4.0
総 合 評 価	3	4	4	3	4	3.6
(主な意見)						
当該研究は中国の経済活動や環境対策等による影響を把握する意味からも継続的な調査研究は意義があると期待する意見がありました。						

- 調査研究課題：常時監視公共用水域（海域）の水質への外洋の影響に関する調査研究
（実施計画期間：平成 19 年度～ 21 年度）

評価事項	委員					総合評価 (平均値)
	A	B	C	D	E	
調査研究目的の進捗状況	2	3	4	3	3	3.0
調査研究内容及び調査研究体制の変更の必要性	3	4	4	3	4	3.6
調査研究継続の妥当性	3	4	4	4	4	3.8
総合評価	3	4	4	3	4	3.6
(主な意見) 別課題で調査研究中の鹿児島湾内の調査結果とリンクできるような研究成果を期待したいとの意見がありました。						

(3) 事後評価

- 調査研究課題：銀イオンによるレジオネラ属菌の消毒方法及び迅速検査法の確立
（実施期間：平成 17 年度～ 19 年度）

評価事項	委員					総合評価 (平均値)
	A	B	C	D	E	
調査研究目的の達成度	4	4	3	4	4	3.8
環境及び保健衛生行政施策に対する反映・寄与の程度	4	4	4	3	5	4.0
学術的意義又は技術開発に対する寄与の程度	3	4	4	4	5	4.0
県民のニーズに対する対応及び波及効果	4	3	4	3	4	3.6
調査研究成果の取りまとめ及び公表の状況	3	3	3	3	4	3.2
今後の発展性	3	4	4	4	4	4.0
総合評価	4	4	4	4	4	4.0
(主な意見) この成果の実用化に向けた取り組みがなされることを期待したいとの意見がありました。						

評価結果に対する対応

- 事前評価を受けた 1 課題については、総合評価及び主な意見に基づき調査研究計画の見直しを行い、助言、意見を反映した調査研究になるように内部評価委員会委員各位と調整しているところです。
- 中間評価を受けた 2 課題については、高い評価を受けられるよう研究を進めています。
- 事後評価を受けた 1 課題については、実用化に向けて関係機関と協議しているところです。

なお、「調査研究評価要綱」には、専門家及び有識者で構成する「外部評価委員会」設置が規定されていますが、諸般の事情により当該規定は当分の間、施行しないこととしています。